

大豆栽培で食の大切さ学ぶ ずんずんず〜ん隊



今年は一色地区の畑を借りて大豆栽培

ずんずんず〜ん隊に
参加して

下伊那農業高校
食品化学科3年

松島 里紗子

はじめは小学生にわかりやすく大豆のまき方が、自分から話しかけを行うことでコミュニケーション

シオンができ、丁寧に説明することができました。小学生の交流を通して大豆のことについて学べるきっかけができてよかったです。私と一緒に大豆の種まきをした子はまだ未就学児でしたが、私の説明をしっかりと聞いてくれたり、うなづいてくれたりとうまく会話ができ、たのしく作業ができました。畝の目印をつけたり、覆土や鎮圧で時間がかかり苦労しましたが子どもたちや保護者の皆さん、それに地域の方と一緒にすることができて有意義な時間を送ることができました。

えんじょぐい

伊那山脈について

県から東を眺めると、伊那山脈が連なっています。伊那山脈は隆起してできた地塁山脈です。山

脈の北端に当たる山が守屋山です。この山は富士火山帯に属し、伊那谷で唯一、火山によってできた山です。

山頂には守屋神社の奥宮の祠があり、諏訪大社の奥宮でもあります。年一回、神司による祭祀が行われている信仰の山でもあります。山頂からの眺望はパノラマで圧巻です。

守屋山の西麓から流れる沢川には箕輪ダムが造られ、上伊那地域の飲料水の水源となっている多目的ダムです。もみじ湖周辺や川沿いに植えられたモミジが成長し、秋の紅葉の名所にもなっています。

西鼎 御菌生 詔二



コロナ禍の夏の分館活動

この夏もコロナ禍の影響で、いくつかの分館の行事が中止となりましたが、その中でも行事を行った分館を紹介させていただきます。来年は全分館の行事ができることを祈るばかりです。

夏の楽しみをつくる

吉田綾子(中平)

3年振りの中平区民納涼祭を7月23日に開催しました。感染警戒レベル4になるまでも何度か祭りの目的や内容について祭りの可否と同時進行



で協議してきました。

スタッフ全員に抗原検査キットを配布すること、酒類は帰りに提供すること、五平餅、かき氷、飲み物、子ども達にはさらにヨーヨー釣りと花火セットの提供。祭りを縮小し、時間も短縮しました。フードライブにはたくさんの食料が持ち込まれました。

中平バンドの演奏、獅子舞保存会のお囃子と演舞が祭りを引き立ててくれ、「やってよかった」という声を聞きました。力を合わせて祭りを創る姿から中平の底力と祭りの意義を感じました。

3年ぶりの納涼祭

鈴木亮弘(下茶屋)

下茶屋区民納涼祭！集まってくれた人達から「近くにいっても顔を合わせてゆっくり話ができませんでした。でも今日公民館



善光寺御開帳の旅

中島勇人(東照)

3年ぶりに大型バスでの研修旅行を6月26日に計画したところ、28名参加で天候に恵まれた旅となり、最終日の日曜日で道路事情や回向柱までの時間が心配されましたが、スムーズに進み本堂の前立本尊の前にありたいご縁を感じ、豊丘村在住の井出十夢さんの猿回しにも感動し、昼食は飲み放題で、美味しい料理を囲んでの宴で、従業員も注文に戸惑う位盛り上が

に来てよかった」嬉しい言葉が聞かれ、子ども達のくじ引き射的を楽しくでマスク越しでの笑顔も見られたこと。どうしたら安心して公民館に集まってくれるだろうか？夏の思い出にしてほしいと皆で考える中で、プログラム内容を決めるには安全の指導をいただき開催。茶屋町太鼓の演奏から始まり各種屋台・お楽しみ抽選会・壮年団の力作動画放映・キッチンカーも大盛況、区民が楽しく過ごすことができました。



り、信州割の対象となった得をした旅とコロナが落ち着いている中での充実した旅行となりました。区民の皆さんの日頃からのご理解とご協力に感謝した次第です。

名古屋遊び場

伊藤正洋(名古屋)

去る、6月26日(日)に「名古屋遊び場」が神社



境内と公民館内において子ども、保護者合わせて約60名参加して「体験」をテーマに開催されました。子どもたちは、親や友達と意思の会場で、ペタンク、ボッチャ、フライングディスク、グラインドゴルフを楽しみました。中でもフライングディスク(ストラックアウト)が人気でした。最後にお菓子が配られた子どもたちは、「来年もやってね！」と元気よく笑顔で帰って行きました。

こども夏まつりを終えて

澤柳厚司(切石)

短すぎる梅雨が連れて来た暑い夏休みに向けて、企画2年目の今年、区役員総出で取り組みました。PTAや壮年団、切石煙火を巻き込んで準備が進み、いよいよ来週から夏休みという頃、新型コロナが広がりました。

やり遂げたい一心から抗原検査を実施、慌ただしくも開催できましたのはひとえに実行委員全員の協力の賜物です。結果としては予定した



地域と共に歩む

宮内健次さん(85歳) 名古屋



今回の「かなえびと」は、下伊那農業高校の前にあった酒食料品店「木村屋」のご主人、宮内健次さんにお話を伺いました。

宮内さんは、名古屋に生まれ地元で根ざした活動をされており、その中の思い出を語っていただきました。

1つ目は、区で立ち上げた「名古屋を考える会」です。アップルロード開通前年に、名古屋副館長として開通に伴う乱開発や景観への危惧から住民へのアンケートを行い、これを基に「名古屋を考える会」を設置。県知事への要望も行い、住民や出店企業と「景観形成住民協定書」の締結をしました。協定書は拘束力も罰則もない独自の協定ですが、出店の壁の色を修正してもらうなど、現在の名古屋の景観を守る土台を築いてくれました。

2つ目は、「アップルロード開通記念タイムカプセル」です。名古屋分館長をされていた1991年にタイムカプセルの埋設を企画実施し、30年を経て本年2022年4月に開封。埋設に向けて予算も限られておりご苦労も多かったとのこと。「区民の協力を得てなんとかできた」と当時を振り返っておられました。

3つ目は、名古屋区誌です。事務局として1980年から取り組み、20年の歳月を経て2000年に完成。全615ページになる名古屋区誌が発刊されました。名古屋の歴史を後世に伝える貴重な資料となっています。

お話を伺う中で宮内さんの功績は大きく、長年に渡った活動はご苦労も多かったと感じました。取材時同席された奥さんと一緒に、笑顔で「地域に感謝」「健康に感謝」と話をされている姿が印象的でした。

(取材:伊藤 正洋)

かなえびと

No.48

記録的に早い梅雨明けとなった今年の夏、各区で行事を計画されていたことでしょうか。しかし、再び新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となった行事も多数ありました。今回、これまでに実施できた地区の活動を紹介させていただきます。実施するにあたり、様々な対策や工夫をされたこ

編集後記

ぼくが2学期にがんばりたいことは、運動会の組体操です。理由は、今までの6年生の組体操を見て、みんな



上山 萩原 虎太郎 さん(6年生)

2学期にがんばりたいこと

などで息を合わせてやっていて、とてもかっこいいなあと思ったからです。息を合わせてやらないと、練習をしないとできないと思います。夏休みが終わって少し経つと組体操の練習が始まると思うので、一生懸命やって、がんばりたいです。

活動の様子を写真たくさん撮ろうと買ったSDカード、果たしてどのくらい記録ができるのか心配です。(S・S)

お詫びと訂正

公民館報かなえ第419号に掲載した、かなえびと(No.47)の本文中「瑞宝単光章」とあるのは「瑞宝双光章」の誤りでした。お詫びして訂正します。



No.122